

いわき農林ニュース

(ごちそう ふくしま絆づくり運動ニュース)



発行 平成23年2月18日



「初市」(株平木材市場)が 開催されました。

1月7日(金)、いわき市内郷の株式会社平木材市場において、平成23年初市が開催されました。

初市には、関係者など約120名が出席し、来賓を代表していわき農林事務所高梨所長が祝辞を述べました。

市場には、スギ、ケヤキ、クリなど、通常の約3倍の量となる素材3,000m³、製品1,500m³の優良材が入荷しました。

当日は天候にも恵まれ、活気に満ちた競り売りが繰り広げられ、スギ中目材(直径20~28cmの材料)が1m³当たり1万4000円台の高値で落札されるなど、幸先の良い初市となりました。



(初市の原木せり売り風景)

今回は、自分たちの生産した食材を、一流シェフに調理していただき、それを地元消費者といっしょに食べる「地球ファミリーいわきのつどい2011」のイベント内容について検討されました。

出席した認定農業者からは、地元の野菜を知っていただく良い機会と捉えて、積極的な提供の申し出がありました。

また、市内の旅館やホテル等の実需者が求めている農産物と、自分たちが生産している農産物をまとめたニーズマッチングリストの活用方法や、今後の研修会の開催、農業者戸別所得補償制度の内容等、地域農業の活性化についてもさまざまな意見が交わされました。この方部会議の議論を踏まえ、いわき市認定農業者協議会として、さらなる活動の展開が期待されます。



(認定農業者協議会方部別会議の様子)



「認定農業者協議会方部別 会議」が開催されました。

1月13日(木)から20日(木)まで、市内6箇所の会場において、いわき市認定農業者協議会方部会が開催されました。

同協議会は、平成7年に認定農業者の資質向上、相互の親睦及び連帯、自己の農業経営改善と地域農業の振興に寄与することを目的として発足し、協議会内には6つの方部会が組織されています。



いちご大好き!「いちご祭り」 が開催されました。

1月18日(火)、いわき市四倉町の4つの幼稚園において、JAいわき市と同じご部会主催による「いちご祭り」が開催されました。

いちご祭りは、幼稚園等の子どもたちに「とりたてのいちごを食べて欲しい」という生産者の思いから始まった、「いわきいちご」のブランド確立と消費拡大

を図る取組みです。

園児たちは、真っ赤に色づいた大粒の“いわきいちご”を小さな口いっぱいにはおぼっては、「おいしいね」、「甘い！」などと喜んでいました。

ぜひ、いちごのパックフィルムに印刷された塩屋崎灯台のイラストを目印に“いわきいちご”を味わってみてください。



(ふくはる香)



(いちご祭りを喜ぶ園児達)



(みんなで、いちご大好き!!)



「平成23年いわき地方新規 需要米需給調整会議を開催」

1月24日(月)、県いわき合同庁舎において、稲作農家、畜産農家、関係機関など50名が参加し、平成23年いわき地方新規需要米(※1)需給調整会議を開催しました。

この会議は、米価の大幅下落に伴う水田農業経営の悪化により、戸別所得補償制度への加入や新規需要米の生産ニーズが高まっていること、配合飼料価格の高騰などにより、畜産経営が厳しい状況にあるため、いわき市内における新規需要米の需給調整の仕組みを構築することで、所得向上や生産コストの削減を図るものです。

今後も、関係機関の連携により、いわ

き地方における稲WCS(※2)や飼料用などの新規需要米の生産拡大を図り、稲作農家や畜産農家の経営安定を目指し、継続して支援を行うこととしています。

※1 新規需要米：飼料用、米粉用(米以外の穀物代替となるパン・麺などの用途)、輸出用、バイオエタノール用、青刈り稲、稲発酵粗飼料用稲など、主食用米の需給に影響を及ぼさないもの。

※2 WCS(ホルクoppサルージ)：稲の穂と茎葉を丸ごと乳酸発酵させた粗飼料



(新規需要米需給調整会議の状況)



「いわき地方循環型農業推進 先進地研修会」を開催

1月26日(水)、宮城県登米市「ウジエクリン」及び二本松市「サントーマス」において、いわき地方循環型農業推進先進地研修会を実施しました。

この研修会は、食品残渣の利用や有機資源の堆肥化があまり進んでいない、いわき地方において、その活用方策を検討する場が求められているため、先進事例を通じて関係機関の連携強化を図ることを目的に、食品残渣の利用や地域資源を活用した堆肥生産について、研修しました。



(ウジエクリンでの研修状況)

宮城県登米市のウジエスーパーでは、食品残渣を活用し、特殊肥料を生産、その肥料で栽培した米で作った日本酒やもちと、大豆から作った味噌、豆腐、納豆等をスーパーの特設コーナーで販売し、地産地消の拡大を進めているものです。

二本松市のサントーマスは、県内の製材所から発生する樹皮と近隣の食肉工場のスラッジ(※)、ビール工場の残渣等を活用して発酵・熟成させた良質堆肥を生産しています。



(サントーマスでの研修状況)

研修では、説明者に対して積極的な質問がなされ、循環型農業への関心の高さがうかがわれる研修となりました。

今後は、参加者を中心に地域資源の活用方策を検討し、いわき地域の循環型社会形成を進めていくこととしています。

※スラッジ：①工場廃水や下水処理に伴って出る泥状物。汚泥。



「田んぼの学校修了式・引継式」を実施

1月26日(水)、いわき市立夏井小学校において、同小学校と連携して実施する「田んぼの学校」の修了式と引継式を行いました。

修了式では、昨年4月から今まで田んぼの学校活動を行ってきた5年生児童に対して、田んぼの学校 木田校長から修了証書が授与され、5年生からは、これまで活動に協力してくれた田んぼの学校応援団へ、感謝状が贈呈されました。

引継式では、5年生の代表から、来年

度の田んぼの学校に取り組む4年生の代表へ、田んぼの学校旗の引継ぎが行われ、5年生からは激励の言葉が、4年生からは活動を引き継ぐ決意表明の言葉がそれぞれ贈られました。

式に続いて、来年度最初の活動時に使用する「ぼかし肥」づくりを4年生と5年生が共同で行い、作業中は常に5年生がリードしながら進める様子に、これまでの活動などを通じての成長をうかがわせました。



(田んぼの学校修了証書の授与)

今回の活動で5年生はこれまでの1年間を締めくくり、4年生は来年度から始まる田んぼの学校への意識を高めることができたようです。



(4年生と5年生による「ぼかし肥づくり」)



「ふくはる香を知る“冬のミニ旅”」が開催されました。

1月29日(土)、いわき市四倉町の大野観光いちご園ほかにおいて、県オリジナル品種、「ふくはる香」を広く県民に知ってもらうため、消費者を対象としたPRツアー“冬のミニ旅”を開催しまし

た。

このツアーには、いわき市内外から約90名が参加し、同いちご園やJAいわき市直売所を訪れました。



(大野観光いちご園での試食状況)

いちご園では、「ふくはる香」を思う存分味わったほか、他品種との食べ比べを行い、「甘くておいしい」、「香りがいい」という声が聞かれました。

直売所では、おみやげ用のいちごを買い求める多くの参加者の姿が見られ、皆一様に満足した様子でした。

いわき農林事務所では、消費者の方においしい「ふくはる香」を届けるために、今後も産地支援に取り組んでいくこととしています。



(甘くておいしい「ふくはる香」)



「先進地視察研修」が実施されました。

(フカアド)

1月30日(日)、白河市表郷深渡戸において、「川部地区営農改善組合(小野勝彦組合長)」の組合員35名が参加して、集落営農の担い手組織について理解を深

めることを目的に、先進地視察研修を実施しました。

「川部地区営農改善組合」は、平成22年7月に設立され、市内で11番目の最も新しい営農改善組合です。

研修に向かう車中では、集落営農の2階建て部分の生産組織、農業者戸別所得補償制度等についての事前研修を実施し、視察先の深渡戸集落センターにおいて、「深渡戸アグリ21生産組合」の滝田国男事務局長から、地区の集落営農までの経緯や現在の取り組み内容、担い手組織の生産状況などについて、説明を受けました。



(白河市表郷深渡戸での研修状況)

同生産組合では、水稻、大豆の生産だけではなく、都市との交流を実施したり、生産した大豆を地元業者へ豆腐と納豆への加工を委託し、直売を行っている状況が確認できました。

このような生きた取り組み事例のほか、組合設立の苦労や組織運営の秘訣まで話を伺うことができました。

研修後半では、組合員から積極的な質問も行われ、一行は、集落を維持する担い手組織に関心を寄せていました。

今回の研修を一つの契機として、川部集落での担い手組織が築かれ、集落営農の進展に繋がることが期待されます。

いわき農林事務所からのお知らせ

- ◎ **いわき地方グリーン・ツーリズム推進会議**
日 時：平成23年2月23日（水）10:00～
場 所：県合同庁舎3階会議室
- ◎ **いわき地方環境と共生する農業推進会議**
日 時：平成23年2月24日（木）13:30～
場 所：県合同庁舎3階会議室
- ◎ **いわき地域6次化商品等販売キャンペーン**
日 時：平成23年2月25日（金）～27日（日）
場 所：マルチSC中岡店、SC草野店
※販売商品は100品以上を予定
- ◎ **第3回いわき地域産業6次化ネットワーク**
日 時：平成23年3月3日（木）13:30～
場 所：県合同庁舎4階大会議室
- ◎ **平成22年度JAいわき市環境にやさしい米づくり部会総会**
日 時：平成23年3月4日（金）15:00～
場 所：正月荘
- ◎ **「ごちそうふくしま絆づくり運動」いわき地方推進本部会議**
日 時：平成23年3月9日（水）13:30～
場 所：県合同庁舎4階大会議室
- ◎ **いわき地方水田農業改革推進本部会議**
日 時：平成23年3月11日（金）10:00～
場 所：県合同庁舎4階中会議室
- ◎ **フレッシュ農業ガイド講座**
日 時：平成23年3月16日（水）10:45～
場 所：県立磐城農業高等学校
- ◎ **農商工連携推進のための事業シーズ発掘・開拓事業報告会**
日 時：平成23年3月17日（木）10:00～12:00
場 所：パレスいわや
- ◎ **第3回ふくしま・地域産業6次化全県ネットワーク交流会**
日 時：平成23年3月23日（水）11:00～15:40
場 所：いわき市労働福祉会館

◎ 皆様からのご意見・情報をお待ちしております。

福島県いわき農林事務所 企画部 地域農林企画課

〒970-8026 いわき市平字梅本15番地 Tel (0246)24-6152 Fax (0246)24-6196

(県いわき合同庁舎 3階) URL <http://www.pref.fukushima.jp/norin-iwaki/>

E-Mail iwaki.nourin@pref.fukushima.jp



iwaki.nourin@pref.fukushima.jp